



# 紀宝町

# 議会だより

平成20年9月1日発行（第9号）



## 議 会 日 誌

平成20年4月～6月

- |       |  |       |                                      |
|-------|--|-------|--------------------------------------|
| 4月 6日 | 相野谷診療所開所式  | 30日   | 熊野川河口大橋建設促進議員連盟総会（新宮市）               |
| 20日   | 一般国道42号線熊野尾鷲道路（尾鷲南IC～三木里IC）開通式（尾鷲市）                | 6月 3日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市）                    |
| 21日   | 三重県町村議会議長会理事会（津市）                                  | 4日    | 紀宝町基盤整備促進における地元選出国會議員表敬訪問（東京都）（5日まで） |
| 5月10日 | 通園めだか開所式（紀宝町）                                      | 9日    | 教育民生常任委員会<br>全員協議会                   |
| 11日   | 日本まんなか共和国文化首都事業遷都式（尾鷲市）                            | 10日   | 議会運営委員会                              |
| 12日   | 議会運営委員会<br>紀宝地区交通安全協会代議員総会（紀宝町）                    | 11日   | 南牟婁郡交通安全対策協議会総会・委員会（御浜町）             |
| 15日   | 紀宝町交通安全対策協議会                                       | 12日   | 災害・環境保全対策特別委員会                       |
| 23日   | 熊野川河口に橋を架ける会理事会・総会（新宮市）<br>熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会（新宮市） | 15日   | 東紀州（紀南）広域防災拠点活動訓練（熊野市）               |
| 27日   | 熊野川流域対策連合会理事会・総会（新宮市）                              | 17日   | 第2回定例会・第1日目<br>議会運営委員会               |
| 29日   | 国道169号線改良促進連絡協議会総会（熊野市）<br>熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会総会（熊野市）  | 18日   | 第2回定例会・第2日目                          |
|       |  | 19日   | 第2回定例会・第3日目                          |

# 6月定例会 一般質問

(要約)

平成20年第2回紀宝町議会定例会は6月17日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と常任委員会及び特別委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の18日及び第3日目の19日にわたり、11人の議員が質問に立ち、町行政等、直面している諸課題について、当局の取り組みと考え方を質し、活発な議論が交わされました。引き続き、議案の審議に入り、専決処分の案件2件を承認した後、条例の一部改正案件6件、一部事務組合規約の改正案件1件、平成20度一般会計補正予算案件、国民健康保険特別会計補正予算案件並びに水道事業特別会計補正予算案件、工事請負契約の締結案件1件をそれぞれ可決しました。続いて、人権擁護委員の推薦について同意し、答申書を提出。その後、請願案件を審議し、閉会しました。

## 議員

私は、成川分庁舎、井田、相野谷支所の廃止。小中学校の教育。ごみ処理関係。災害に強い町づくり。後期高齢者医療制度。地方自治体財政健全化法。の6項目について、一般質問をいたします。まず、合併協議会や、町行財政改革大綱答申により、来年3月末で廃止予定の成川分庁舎、井田、相野谷支所について、地元住民から存続希望が数多く聞かれます。特に高齢者や車の使用が不可能な人、鶴殿本庁から遠い地域の人にとって切実な問題です。また、昭和29年の旧紀宝町発足から、その地域には約54年の

歴史があります。年金や医療制度などの改革が急激に進行する昨今、今こそ身近な行政サービス窓口が短時間でも必要で、経費節減などを工夫し存続すべきだと思えます。地元住民の意見を十分聞いてほしい。

## 町長

郵便局への業務委託を考えています。7月に地元説明会を開催し意見を聞きたい。

## 小中学校の教育

## 議員

教育につきまして、本年度から実施の紀宝町学校指導員及び研究校の具体的取り組み

について、教育長お願いします。

## 教育長

4月からスタートし、指導員は校長会などにも出席し、研究校も取り組みを始めています。

## 議員

5月の朝日新聞に「躍進秋田と和田中の秘密 みんなが見ると子どもは伸びる」という特集がありました。秋田県は昨年の全国学力調査で、小六、国語・算数、すべて1位。中三の国語・数学も1位から3位でした。教育指針として「秋田わか杉っ子の学びの10か条」があり、その一つに「新発見の連続、広がる総

合、総合の時間は脳のビタミン」があります。また東京都杉並区立和田中学校では、民間出身の藤原和博校長が「子どもの教育の効果は、かかわる大人の質、量、多様性で決まる」の信念で、「地域本部」を設置しています。どちらも大きな成果を上げています。教育長のご感想をお願いします。

## 教育長

秋田の「学びの10か条」の中には、学ぶべきものがあると思っております。和田中については、都会の学校だからできたのかなという感じもしています。

## 議員

政府の教育再生懇談会の目玉提言として、「小学三年生から英語教育、全国で5千校モデル校を設置」また「小学生に携帯電話を持たせない」がありました。ご見解は。

## 教育長

携帯を使わせないことは、難しいかなと思います。教育としては、使い方を学校教育、保護者、地域の連携の中でやっていくべきだと感じております。

## 矢熊 敏男 議員



・成川分庁舎、井田支所、相野谷支所について  
・小・中学校の教育について  
・ゴミ処理とRDF問題について

他

## 成川分庁舎、

## 支所廃止

私も30数年教育の現場に勤務し、公立学校は単独では存在しないと思えました。そこで町の学校支援組織「元気キッズ」が、大変重要な役割を担っていると思います。

## ゴミ処理とRDF問題

議員

ゴミ処理と平成29年度以降廃止のRDF問題について、現状と課題、将来構想について、町長のご見解は。

町長

昨年の6月の第一次紀宝町総合計画に、今後10年間の指針を示させていただきました。

議員

私は3月の定例議会でも「ゴミ問題を考える会」「有機農業の町づくりを考える会」「紀州製紙㈱のバイオマスボイラーの燃焼研究会」を提案しました。5月24日の朝日新聞に「ごみ9割再利用に道・官民で燃料化新方式」「北海道白老町と日本製紙㈱白老工場による白老方式」が特集されました。本町にとって大変参考になる方式だと思いま

す。そこで6月12日の紀州製紙㈱との「環境保全対策協議会」でも工場長さんに資料をお渡しご説明をしました。将来バイオマスボイラーの燃料に、「ゴミ燃料」と「間伐材」を使ってもらえないかと提案しました。前向きなご感想でした。町長さんのご見解は。

町長

大変、貴重なご意見ありがとうございます。今後、課長会議等で検討していきたい。

## 災害に強い町へ

議員

国内外で、地震や台風の大災害が発生しています。町内の心配な箇所は可能な限り積極的に点検・改善・公開し、安全・安心に努めて欲しい。

そこで心配される井田海岸の安全対策における、国や県の平成20年度の予算はどうか。

担当課長

総事業費が3570万円との報告を受けています。

議員

町内のJ.Rの踏切で井田地区が不便で貧弱である。改善のため強く要望すべきであ

る。

担当理事

7月中に行う予定で日程を調整しているところです。

## 後期高齢者医療制度

議員

後期高齢者医療制度に関して、本年4月スタートから現在までの、町内でのトラブルや苦情、相談の内容は。

担当課長

発足後の4月には196件の問い合わせがありました。内容は、3月は従前の保険証や高齢者受給者証の返却方法など。4月は年金からの天引きが始まることによる、ご自身の保険料額や、保険料の計算方法等についてでした。

議員

政府では修正論議が進められていますが、本町第一線現場が考える問題点は何か。

担当課長

県内市町も同様ですが、1点目は保険料を天引きする老齢年金の優先順位の問題。2つ目は、基礎の保険料の算定などについてです。これらについては、県後期高齢者医療広域連合運営検討会議などで

も声が上がっています。

議員

私はこの制度には反対ですが、高齢者の方が困らないように、よろしく願います。

## 地方自治体財政健全化法

議員

本町の平成19年度決算の、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質交際費比率、将来負担比率はどのような数値ですか。

担当理事

平成19年度決算の各数値は、9月の定例会で報告します。

議員

では平成18年度の数値を踏まえて、町長さん、我町の財政は健全か不健全か。また起債総額はいくらか。

町長

平成18年度の数値では、財政的には健全だと思っております。起債総額ですが、一般会計と水道事業会計と合わせれば、今、約88億円となります。

議員

是非とも負債を減らし、健全財政を続けていきたい。

## 市町村合併

議員

関連質問ですが、6月1日の御浜町の住民投票で合併賛成が多数でした。また6月9日には新宮市と那智勝浦町との合併協議方針が発表されました。合併新特例法の期限は平成22年3月末です。国では道州制も議論されています。私は行財政改革などの観点から熊野市、御浜町、紀宝町が合併し、更なる発展を目指した方がいいのではと考えています。

町長

紀宝町・鵜殿村の合併については、大変な思いの中で、町民の皆様方、議会の皆様方の判断の中で進められまして、大変いい合併が達成されたと思っております。これからも町民の皆様方の福祉の向上と地域の発展のために、皆さんと共に力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございます。



地案 光徳議員

- ・自転車の安全運転について
- ・住宅火災警報器の設置義務化について
- ・うつ病対策の拡充について

## 自転車の安全運転

議員

平成20年6月1日改正道路交通法が施行され、自転車に関する主な改正点として、①自転車は道路交通法上、軽車両に位置付けられ、歩道と車道がある道路では、原則として車道の通行が定められている。例外として、交通可能な道路標識などがある歩道のみ認められていた。今回の改正によって、この例外に加え

て、運転者が児童、13歳未満の場合と、道路または交通の状況から見てやむを得ない場合、歩道を通行できるというルールに定められた。②児童、幼児が自転車に乗るときは、保護者は自転車用のヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。③地域交通安全活動推進委員、いわゆる交通ボランティアの活動内容に、自転車の適正な交通方法についての啓発活動が追加されることとなった。この自転車の安全運転の改正を、住民、児童等にどう対応されているか。

教育長

5月15日に町の交通安全対策協議会があり、町内の小学校長をはじめ各学校から1名が出席して、紀宝警察署の交通安全課長から改正道路交通法について詳しく説明をしていただきました。また5月30日には町内の各小学校に対して、自転車の運転ルールが改正されるので、それを児童生徒にしっかりと指導するよう通知をしました。自転車といえども車ですので、被害者、加害者の両面からしっかりと自転車の事故防止についても

付け加えました。特に小学校の場合は、保護者に対しての啓蒙が大事ということで、話をさせていただいています。

担当理事

交通安全対策については、紀宝町交通安全対策協議会を組織して、各種団体の長に参加いただき、紀宝警察署の交通課長より6月から施行される改正道路交通法の説明を受けています。このとき、出席者に自転車の安全利用等のパンフレットを配付しています。役場総務課の窓口にもパンフレットを備えています。7月には町内各小学校で自転車点検を予定し、この機会に分かりやすいパンフレットを作成して配付を考えています。

## 住宅火災警報器の設置義務化

議員

この義務化は、新築住宅は平成18年6月1日から、既存の住宅も各市町村条例により、平成20年6月1日から平成23年6月1日の間で設置義務化の完了が定められたとありますが、この条例は町民全

体に浸透しているのか。

担当理事

設置及び維持基準については、市町等の火災予防条例によって取り付けが義務付けされており、本町の場合は熊野市に消防事務を委託しているため、熊野市火災予防条例に準じて義務付けをしています。住民への周知は5月号の広報きほうにイラスト入りで掲載しています。また5月25日と29日の2日間、防災無線にて紀宝分署より、住宅火災警報器設置義務化の放送を全町内に行っています。

議員

火災警報器等の設置によって住宅火災による死者数が3分の1程度少なくなったとのことですが、貴重な財産と生命を守る第一歩の警報器です。今後、平成23年6月までの期限の中で、住民への啓発運動はどう推進されますか。

担当理事

大事な命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置するよう、再度、広報誌、防災無線等の活用、消防関係機関及び自主防災組織等の各種団体へ設置義務化の説明をするなど、住民への周知徹底を図

り、普及促進に努めてまいりたいと考えています。

## うつ病対策の拡充

議員

今やうつ病対策は急がなければならぬときに達していると思います。全国で昨年一年間に自殺した数は3万2千人余りと警察庁は発表している。これは交通事故死の5倍に当たる数字です。昨年6月に自殺総合対策大綱で国や自治体は一層の対策を迫られるとあります。当町においても、うつ病による犠牲者もいたかと思いますが、このような事故を防ぐ政策がありますか。

特別参与

うつの場合はどちらかというと、自分の中に向かって攻撃の対象がいつてしまうというようなことがあります。うつ病対策については、新町まちづくり計画及び紀宝町総合計画に記載された「ぬくもりのまちづくり」「あたたかい人間関係づくり」が基本であり、これを具体的に実現するためにはどうしたらよいか、うつ病対策になるうかと



思います。基本的には4項目と考えます。①「自分自身による心の健康づくり」ストレスや自分の感情状態を自覚すること。自分自身による心の健康づくりを普及すること。②「家族、地域、職など周囲の人による支援」回りの人がおかしいと思ったら、あたたかい声をかけるなど周囲のサポートです。③「保健師等による健康相談」保健師等による医療スタッフの、健康相談を利用していただくことも大事です。④「専門医への相談」

精神科医への受診は、世間目を気にする雰囲気がいまだにありますが、町民の意識を変革し、気軽に専門医に受診できる努力をすることも、うつ病対策の拡充につながると考えています。

#### 議員

公明党厚生労働部会は、全国に先駆けて認知行動療法を導入している、沖縄県立総合精神保健センターを訪問、視察しました。うつ病特有の否定的な思考を前向きに修正するための訓練で多大な成果を上げています。当センターの仲本所長さんもこの成果を踏まえ、認知行動療法を全国へ普及等とあります。当町において、このような治療が受診できるような態勢を取れないか。

#### 特別参与

自分自身でできる健康づくりで、ストレスなど自分の感情の状態を自覚する。考え方を前向きにし、専門家の方と一緒に自分がどう気付いているかだと思えます。やり方については、保健師、専門家の精神科医の先生方、これらの方々の協力を得ながら普及しなければならぬと思いま

す。

#### 議員

治療を受けたくても経済的に無理がある方への、生活費助成とか、精神的な面での援助は考えられないか。

#### 町長

特別参与からの4項目等を踏まえ、そういった中でトータル的にできるだけ期待に込めるかたちの相談窓口なり、体制づくりなりを前向きに取り組んでまいりたいと思えます。



市川 潔 議員

- ・ユニバーサルデザインのまちづくりについて
- ・省エネルギーについて
- ・ふるさと納税について

#### 議員

県においてユニバーサルデザインのまちづくり推進条例ができていますが、紀宝町においてどのような現状かお訊ねいたします。

#### 担当課長

ユニバーサルデザインとは、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけでなくの方が利用可能であるようにデザインすることを言います。当紀宝町においては、障がい者及び高齢者のバリアを取り除くという、公共的施設でのバリアフリー化は、すでに取り組みがなされていますが、すべての人々の平等性や、見た目の自然さにまで踏み込んだユニバーサルデザインについては、まだ残念ながら目立った取り組みはなされておりません。今後、障がいの有無、年齢、性別等にかかわらず、すべての町民の方々が社会のあらゆる分野の活動に参加でき、安全かつ快適な生活を営むことができるように、ユニバーサルデザインについて取り組

んでまいります。

#### 議員

今後の紀宝町ユニバーサルデザインのまちづくりの計画としてはどのような考え方ですか。

#### 担当課長

役場全体で、今後、考えていきたいと思っておりますし、私ども福祉課の方から、まず声を上げさせていただくうと思っております。

#### 議員

町長のお考えは。

#### 町長

皆が参加しやすい環境づくりをしていく、これは大事なことです。十分認識しているつもりです。これからも十分配慮しながら対応してまいりますと思っております。

### — 省エネルギー —

#### 議員

広報6月号に「『エコポイント』に参加して温暖化を防止しよう！」と家庭の電気料の削減を呼びかけているが、行政側の取り組み状況についてお訊ねします。

#### 担当理事

行政としての取り組みは、

節電、節水の励行、また、6月からはエコスタイルを実施しております。町内や近隣市町への出張は、可能な限り軽自動車を使用し、県庁などへの出張は、日時が合えば乗り合わせて行くよう呼びかけております。

#### 議員

「エコポイント」の詳しいことについては、県ということではあるが、役場担当課で分かるようにしているのか説明願います。

#### 担当課長

県が推奨している事業ですが、当然、環境衛生課の窓口にも資料は備えており、お問い合わせにはお答えできる体制を取っております。

#### 議員

節電等に取り組まれているということで、具体的に電気料、燃料使用分も含めてお訊ねします。

#### 担当理事

電気料は本庁舎、18年度で560万3319円、19年度、540万7553円、年間の比較で19万5766円削減。まなびの郷、18年度、571万6826円、19年度、560万8175円、年

間で10万8651円削減しております。燃料代は総務課関係の分、18年度で225万2884円、19年度、253万6915円、年度の比較で28万4031円増加しております。

#### 議員

他の課も全部すると、相当な金額になってこようかと思えます。また、庁舎増築になり規模も大きくなるわけですから、専門家のコンサルティングを受けながら削減ということも大事かと思えます。

#### 担当理事

庁舎の増築に向けて、再度、本庁舎の省エネルギー対策として、電気の契約や電気の使用方法などについて、電力会社の相談窓口で相談し、アドバイスを受けたらと思っております。また、分庁舎についても同じく取り組みたいと思っております。車の方も、産業建設課、水道課、地域包括支援センターが本庁舎に一元化されるといふことで、総務課で一括管理ということかたちで検討しております。

#### 議員

誰でも住所地以外の自治体に寄付をした場合には、寄付金のうち5千円を超える額を、所得税と住民税から控除される制度ができたが、紀宝町に納税してもらえらる広報については、どのようにされているのかお訊ねします。

#### 担当理事

ふるさと納税制度については、個人がふるさとなどの自治体に寄付した場合、5千円を超える額を居住地の自治体の住民税及び所得税から一定額を上限に控除することで、実質的に納税者が希望する自治体への納税と同等の効果が得られるというもので、寄付金の上限は、個人住民税所得割の一割程度となっております。寄付金控除を受けるためには、寄付した自治体からの受領を証明する書類等を添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告をしていただく必要があります。ふるさと納税制度のPRについては、現在、三重県がホームページを開設しておりますが、本町については問い合わせ先等についてリンクしております。紀宝町独自のPRについては、

各自治体の取り組み状況をみながら検討を行っているところで、町のホームページについては、開設に向けて取り組んでいきたいと考えております。

#### 議員

他所へ行っている人が紀宝町に対して、ふるさと納税を納めていただくことは結構な話で、紀宝町の方が他へ寄付した場合に、紀宝町に入る税金が少なくなっていくというように解釈もできますので、もう一度確認をお願いします。

#### 担当理事

紀宝町の寄付金額に対し、紀宝町の方の住民税が、町で6%、県で4%、その分が税額控除されます。

#### 議員

ふるさと納税をしっかり紀宝町に納税してもらい、紀宝町の人は、紀宝町に納税してもらおうような紀宝町であらねばと思いますが、町長、お答えをお願いします。

#### 町長

貴重なご指摘をいただきありがとうございます。私自身も格差は正の中で、紀宝町出身者が、地元へ貢献したいと

いう思いを持っていただく、まずそういった雰囲気をつくり、しっかりと企画、立案をしながら、PR活動等も行ってまいりたいと思っております。



西村 喜久男 議員

- ・ 獣害対策について
- ・ ゴミ問題について
- ・ 地域文化の振興と地域の活性化について
- ・ 地域交流センターについて

## 獣害対策

#### 議員

紀宝町で地元が抱える問題点に挙げられる鳥獣による農作物の被害状況を把握されておりますか。

#### 担当課長

推定ですが19年度においてサルの被害456万円。イノシシの被害688万円。シカ

の被害22万1千円、となっております。

### 議員

有害鳥獣に対しての今までの対策状況はどうなっていますか。

### 担当課長

町内猟友会の協力のもと、有害鳥獣捕獲制度により駆除を行っております。駆除に対する補助金については、ニホンザルの駆除の補助（2万円）に加え、新たにイノシシとニホンジカの駆除に、それぞれ1頭当たり3千円の補助金を支払っております。これらの駆除対策に加え、平成20年度より「鳥獣による農林水産等にかかる被害防止のための特別措置に関する法律」を受け、4月に農業委員会会長と猟友会、紀宝町水田営農推進協議会温州部会第一支部の代表者で、紀宝町鳥獣害防止総合対策協議会を設立しまして、今後、この協議会において地域の要望などを集約、追い払い体制の構築や実証試験などの事業を進めていく予定となっております。

### 議員

駆除する方向の面からお訊ねします。檻やくくりワナで

の捕獲には免許が必要かと思いますが、他県では役場の職員がチームを組んでくくりワナを仕掛けてイノシシを捕獲したとインターネットに載っていましたが、これからの取り組みについてはどうですか。

### 担当課長

今後、農業者に対するワナ猟免許取得の奨励と合わせ、猟友会紀南支部の協力のもと、より多くの人が有害鳥獣制度に参加していただけるように働きかけていくことも必要かと思えます。

### 議員

捕獲したサルにセンサーを付けて、サルの群れを管理、追い払う取り組みについてはどのようなお考えですか。

### 担当課長

農業者を中心とした地域住民による、追い払い体制の構築が図られ、地域の要望があれば、県等と調整し対応を検討していきたいと考えています。

### 議員

別の追い払いの方法として、大紀町では警察犬の訓練所で訓練された犬がサルを追いかう、モンキードッグが県内で初めてこの4月から任

務について、効果が出ているそうです。この取り組みについてどうですか。

### 担当課長

地域の理解と犬のしつけ等も必要ですが、鳥獣害防止総合対策協議会の中で検討する必要がありますと考えております。

## —— ゴミ問題

### 議員

今年4月から燃料ゴミの回収回数が増え、今後、ゴミの量が増えてくる懸念があると思います。御浜町では昨年RDF化にする燃料ゴミを10%約230ト減らそうと目標に掲げ、資源ゴミの分別や生ゴミの水切りの徹底を呼びかけてきたことで、一年で目標の約半分120ト減らすことができましたそうです。私たちも具体的な目標を掲げて取り組むべきだと思えますがいかがですか。

### 担当課長

将来的には生ゴミの堆肥化事業を進め、燃料ゴミを減らす目標的なものは、総合計画策定の段階で策定しておりますが、具体的な年次については、まだ現在、検討中です。

### 議員

燃料ゴミの収集を今の週4日を3日に、1日減らして、余裕の出た時間で、分別の徹底を図る等の、エコ広場的な取り組みについてどうでしょうか。

### 担当課長

今後、ご指摘のような収集方法や分別や減量化の取り組みについて、町にとって適当と思われるかたちが出次第、改めて住民の皆様にもお願いをしていかなければならないと考えております。

### 町長

全町民の皆様方に、ゴミの減量化に向けての意識を持っていただくための啓蒙、啓発活動に取り組んでまいりたいと思っております。

## 地域文化の振興と地域の活性化

### 議員

伝統芸術とも言える船大工の技術を世界遺産の熊野川と同様に、今後も継承されるよう努めていかなければならないと思えます。しかし後継者の育成となると、環境の面、金銭的な面も含め、いろいろ

問題があるようです。できる限りの支援をしていただきたいと思えます。どのようなお考えでしょうか。

### 担当課長

川舟大工の技術を継承していくためには、時間や諸経費など問題が多いとのことであり、単に技術面を伝えるだけではなく、船大工を本業として生活できる環境を整えていくことも重要であります。町・県の無形文化財等に指定し、国・県から支援をいただけるよう取り組みを関係部局と検討したいと考えております。

### 議員

この5月8日にNHKで放送された「生活ホットモーニング」という番組があり、熊野古道についてでしたが、紀宝町の紹介もあり、ゲスト出演者だった元全日本のラグビー選手だった大八木さんのコメントで、「紀宝町に是非もう一度来たい、住んでみたい」と言っておられました。紀宝町の活性化のヒントになると考えますがいかがですか。

### 担当課長

今年、子ノ泊山のことであ

り、ホームページのアクセスも相当入っております。今後、観光面でウミガメ公園や三反帆など利用して、問い合わせ等もできる態勢を取っていきたいと思っております。

## — 地域交流センター —

### 議員

建設予定されていた場所について、地元住民の方から、公園をつぶしてまでその場所に建てる必要があるのかと、疑問視する声があると聞きました。どうお考えですか。

### 担当課長

建設場所、施設の規模等について、地元区と協議させていただき、役場近くの町有地ということに決定いただいております。

### 議員

今後、地元住民の方と十分検討していただき、進めていただきますと思います。次に備品のことについてですが、当初より減額になったようですが、どのようなになりましたか。

### 担当課長

約395万円減額の404万3千円となっております。

内容としまして、机30台、椅子100脚、座卓10台、座布団20枚、エアコン、和室用が2台、冷蔵庫・電子レンジ・システムキッチン等をそれぞれ1台の予定です。

### 議員

まちづくり交付金事業です。住民の皆さんの意見をお聞きして、交付金を有効に活用していただきたいと思っております。



北山 千恵 議員  
給食費について  
・ごみ収集を含むごみ行政全般について

## — 給食費 —

### 議員

以前、給食費の未払いが多いと聞いていましたが、今は

どうですか。

### 担当課長

本年3月末、5校で未納世帯がいますが、月遅れで入金してもらっています。一部、何カ月も未納となっている世帯もありますが、学校側で自宅訪問などを検討しています。

### 議員

依然として未払いが問題となるような状況なら、給食費の前払い制度を導入してはどうでしょうか。

### 担当課長

滞納対策の手法の一つではあります。教育委員会としては考えておりません。

### 議員

検討してみる価値はあると思います。学校側では未払金の回収に大変苦慮されていると伺いました。経済的理由でどうしても払えない世帯は別枠で考えるなどし、お金を払わなければ給食は食べられないということをお教えるのも教育の一環だと思います。

## — ごみ収集を含むごみ行政全般 —

### 議員

ごみ収集の回数が増えるごみの量も増えるというのがごみ行政の一般的な考え方です。私の近くのごみ収集場では、ごみの量が増え、マナーが悪くなったと感じています。他所ではどうですか。

### 担当課長

4回の収集にして2カ月が経過しましたが、今のところごみの量は増えていません。マナーの面でも苦情は寄せられていません。

### 議員

ごみ出しの状況が気になったので、他の収集場も見て回ったが、残念なことに何かしらのごみが常に収集場に入っており、景観上好ましくない状態になっています。課長は週4回にしたことで収集場がどうなっているか、ごみ自分の目で視察されたことがありますか。

### 担当課長

現場に行くとき、何カ所か見えています。

### 議員

ご自分で見られて、実際に以前と比べ、マナーは良くなっているとお思いですか。

### 担当課長

主観的ですが、特にあふれ

て收拾がつかないようなところに遭遇したことがあります。

### 議員

ごみの量も気になるので、紀南清掃センターに行き話を伺いました。「ごみ行政の立場から見ると、紀宝町は大変なことをしたなあというのが正直な感想だ、4回にしたことで量は増えてくると思うし、ごみ量の実績で負担額を決定するので負担額が増えるのでは」というような話でした。紀南清掃センターへの負担額は21・22年度はどうなるかと推測していますか。

### 担当課長

4回にすることでごみ出しの利便性が向上し、1回の収集量が分散され、1日当たりの回収量は減ると考えており、ごみの増加につながらないような取り組みを進めていきます。

### 議員

灯油料金も高騰し、灯油の使用量はRDF化するごみの量に比例すると言われています。真剣にごみ減量に取り組みまないと大変なことになると思います。

### 担当課長



灯油代は20年度は1200万円ほど上がっています。灯油の値上がりは市町村ではどうにもなりませんので、ごみの減量化を進めて負担金を少なくする取り組みが必要です。

**議員**

初めは無料のはずだったRDFの引取り料もトン当たり3790円と運賃6000円が爆発事故で値上がりし、5058円になり、さらに県では9420円にしようとしており、ガソリンの高騰で運賃

も値上がりしていますが、いくらくらいになると考えていますか。

**担当課長**

運送費は20年度、税込み7350円で、引取り料については県のRDF運営協議会で決定されます。

**議員**

21年度はもつと上がってくるってことですよね。具体的な経費削減策と、29年度で運用停止となった場合の措置を町としてどのように考えていますか。

**町長**

初めは無料だったものが段々と上がってきているわけですから、6団体14市町の言い分もしっかり申し上げ、県の考え方も聞く中でしっかりと協議していききたい。

**議員**

運用停止となった場合の腹案を町長としてどう持っているのかお聞きしたのでありますが、私は運用停止を逆手に取り、今、RDFが産業廃棄物扱いになっているのを資源燃料扱いになるよう働きかけ、RDFの欠点である生ごみを分別し、高品質の燃料となるようにし、紀州製紙でバイオマス

ボイラーの燃料として使ってもらおう。分別した生ごみは堆肥化し、安心・安全の野菜づくりに使用し、東紀州で作った安心・安全な野菜や果物と付加価値をつけ売り出す。東紀州全体で資源循環型社会に取り組み、官民が共存共営し、地域全体で浮上していくことが重要と考えます。そうすれば多度町まで運ぶこともなくなり、地球温暖化防止にもつながりますが、いかがでしょうか。

**町長**

県が撤退した後、どこが請け負ってやっていくのかわからない状況で、議員指摘の方法も踏まえ、これから研究し、資源循環型社会の構築に向けて取り組みを進めていきたい。

**議員**

29年以降民間委託になると、1万35000円になるとの情報もあります。そうになると、この地域はどうなりますか。県が撤退したいという瞬時を捉えて、だから逆手にとって、この東紀州で資源循環型社会のためにRDFを利用するのだと、絶好のチャンスと捉えて、紀南清掃施設

組合議会には、町長と議長しか出席できないのですから、強い気持ちで望んでもらいたい。

他にも、いろいろごみに関する質問がありました。紙面の関係で割愛させていただきます。



尾畑 啓嗣 議員

- ・紀宝トンネル工事について
  - ・行財政改革について
  - ・入院見舞金制度の創設について
  - ・給食センターの経費削減について
- 他

— 紀宝トンネル工事

**議員**

4月20日、21日に国土交通省により公聴会が開かれました。国土交通省の職員を始め地域住民18名が、それぞれの立場から公述を行いました。この住民の意見を述べる場

に、町長始め行政当局の責任ある立場の方が誰一人参加していませんでした。当初議会の町長の基本方針「住民が主役のまちづくり」「信頼される行政の運営」「安全で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として掲げています。住民の声を聞かないという態度は、この基本理念から逸脱しているのではないのでしょうか。町長、紀宝町にとって国道42号線の紀宝トンネル工事は他人事ではないと思います。国土交通省がやるから参加しないという性格のものではない、なぜ参加しなかったのか。

**町長**

バイパスの進捗につきましては、議員ご指摘のように、私も大変注目しており、事業推進についてはしっかりと行っていたと思います。町民の皆様方のご意見については、その結果等を踏まえる中で、把握をしまいたい。

— 行財政改革

**議員**

私は旧紀宝町のときに、高

い町債を利息の低い銀行に借り換えることを提案しました。その結果、2240万4千円利息が減額となりました。合併後も提案しました。

平成10年からは、銀行の利率は年2%前後であります。私たちの預金利率は、今、0.35%ぐらいであります。今回、年6%以上は借り換えができるとお伺いしております。収入役にお願いたしません。借り換えるならば、どの起債を借り換えるのか。年利率はいくらぐらいになるのか。もし6%以上が2%になれば、3分の1の利息ですみます。借入先の銀行は、競争入札をやっていたきたい。収入役の答弁を。

### 収入役

特例で国が指定をしまして、借り換えを許可する場合がございます。国の実施要綱によりますと、平成4年度までに借り入れたもので利率が5%以上、6%以上、7%以上に分かれておりまして、この内5%以上については、実質公債比率が15%以上というしほりがございます。紀宝町は実質公債比率が14.8%なので、6%以上のものが借り

換えることができます。町では9件が該当します。その内2件を借り換えれば、約3200万円ぐらい安くなる見込みです。

### 議員

早く結論が出るように努力してください。

## 入院見舞金制度創設

### 議員

後期高齢者医療制度により75歳以上の方が1785名、うち年金から天引きされない方が356人おります（普通徴収の方）。また、国民健康保険加入者で7割軽減を受けている人が1057人おります。この人たちが入院すれば生活は大変です。今、全国の自治体のいくつか、この人たちへ入院見舞金制度を創設しています。1カ月入院すれば1万円、2カ月2万円、3カ月以上が3万円です。町長、子育て支援、若者定住支援と同様に、低所得者に優しい紀宝町、福祉のまち、紀宝町をつくるために、この制度の創設を。

### 町長

本庁におきましても、医療

機関に入院した場合に、入院見舞金を支給することによって、高齢者の方々の生活の安定と、福祉の増進に寄与できるのかどうかを、財政面も含めて、制度の検討を指示して取り組んでまいりたいというふうに思っております。

## 給食センターの経費削減

### 議員

給食センターの食器洗いや炊飯はボイラーでガスと灯油でやっているところのお答えですが、CO2削減と燃料費削減のためにエコに切り替えてはと提案し、試算して欲しいと要望しました。宝寿園は切り替えますね。

### 担当課長

エコキュートにしますと、設置費1353万7千円、10年で回収、CO2は28.1%削減できます。

### 町長

宝寿園は投資的経費、あるいはランニングコストを考えた上で、今、入札を行って工事に掛かるところです。

### 議員

相野谷診療所について質問

します。収入と患者数は増えましたか。独立採算制でやれますか。新築して改善すべきことはないのか。町民からの要望はあるのか。

### 特別参事

5月の実績で評価しますと、延べ患者数604人、昨年度の同月比で115%、保険収入594万円の129%でございます。何とか独立してやっていたるのではないかと、私の判断でございます。

## 宝寿園

### 議員

今、福祉現場では全国的にも、また、宝寿園においても人材不足が深刻であります。必要な介護の提供を困難にしているところがあります。介護保険法が施行され8年でありまして、2度の報酬改定により施設の収入が減っております。宝寿園の17年度の歳入決算と、20年度の歳入予算を見ますと、3261万円の減収予算であります。ベッドに空きが出れば収入ゼロであります。来年は法の改定の年でありまして、介護報酬の引き上げと、入所ベッド数の改訂をや

らないと赤字になります。町長、国・県へ広域連合と一緒になって、要望するつもりはありませんか。

### 町長

議員ご指摘の部分については、十分要望として承って、今後の運営について、検討してまいりたいと思います。

### 議員

宝寿園は48名の従業員の内、19名がパート労働者、月18日勤務、日給8400円、夜勤4回、月約15万1200円、退職金なし、ボーナスなし、夜勤割増はありますが、労働条件のきつい割には安いために定着しない。各種保険制度は整っていますか。

### 担当課長

雇用保険は4月に臨時採用された方、全員に入っております。1年に満たないということで加入していません。

### 議員

年度途中であろうが、働く人を雇えば雇用保険、労災は掛けるのが当然だと私は思います。

### 担当課長

至急、この件は調べさせていただきます。内容を精査させ

ていただきます。

## — 地産地消の指導

### 議員

昨日、松杖の畑に野菜を採りに行ったら、サルにキュウリ、なすびは全滅。家に帰り、ミネラルウォーターがあり、これいくらかと聞くと500ミリリットル137円と言う。この中にお米を入れると、91円となる。何と日本の米は水より安い。腹が立ってしょうがない。日本の自給率は39%と、国連が調査した178カ国中、123番という。残留濃度、冷凍ギョーザが問題となっている。町民の健康維持のためにも、私は地産地消という考え方を、ただ単に学校給食にしたらいいとかいうだけでなく、自らの地域で作ったものを自らの住民が食べることを目指す必要があると思います。阪神大震災以降、地震があちこちで頻発しております。食料が他から入ってこなければと考えたとき、今こそ町と農協が指導し、地産地消の運動を始めるべきです。

### 担当課長

紀州地域農業改良普及センターやJA等の各関係機関と協力して、野菜作りの勉強会など開催し、より多くの皆様が地元の市場、または農産物販売所に出荷してもらおうよう進めてまいります。



門脇 庸二 議員

・成川小学校の将来展望(現在の位置)と耐震対策について

・三重県ごみ固形燃料(RDF)発電事業について

## 成川小学校将来展望と耐震対策

### 議員

成川小学校の耐震診断について、教育長は、3月議会の一般質問で、何の先入観も持たずに、耐震診断をしていこうという答弁であったと思います。そう言われる中で、今

の児童数と運動場の狭さ、そして、旧紀宝町のときに体育館を新しくしていただいたこととございます。ですから将来、成川小学校の場所移転ということも視野に入れられておるのか。

### 教育長

耐震診断を受けて、結果を待つということ、今も変わりありません。今調査中ですので、その診断結果を見てから決めていきたい。

### 議員

成川小学校、木造ですね。そして48年経過している。木造の場合、24年経過しておれば、当然改築の対象になるわけでしょう。耐震診断の結果を待ってと言われますが、結果はみるまでもなく、同僚議員の経費節減云々もあり、そういう耐震診断をする無駄な金を掛ける必要があるのか。将来展望として、あの場所でのいいの。児童数も減っていく。そういわれる中で、移転を考えず、耐震補強であるとか、改築であるとか、お考えになっておるのか。

### 教育長

診断結果が出た時点で、教育委員会としても考えていか

なければならぬ。また、各方面で、いろいろな考えとか聞いていかなければならぬ。その中で、当然、位置も出てくる可能性があるというふうには、私は思っております。

### 町長

成川小学校の場所等についてのご質問につきまして、やはり、これまでの長い歴史の中で、それぞれの地域の中で、子育てをされてきたわけでございますし、またその学校に対する愛着というの、それぞれの皆様方が地域においてお持ちですし、また卒業された皆様もそういった強い思いを持っておられると思えます。そういった意味で、これからのあり方について、やはり、地域に根ざした部分というのは非常に大きな力を持っているのではないかなと思っております。基本的にはそういう形の中で、これから取り組みを進めていかなければならないと思います。耐震の部分につきましては、教育長が答弁したとおりですが、補強か改築か、当然結果的にはな

### 議員

本来ならば、木造建築で48年も経っている。耐用年数は24年となっているのだから、耐震診断の経費は無駄ではないのか。

### 担当課長

旧紀宝町のときに、本当に軽微な診断を受けており、その時点で補強は難しいということ、県の指導で、補強、改築する場合は、耐震診断を受けて、その結果を踏まえて、進めてほしいという回答でした。

### 議員

県の指導だということ、一次診断が終わっているのだから、耐用年数云々の問題で、二次診断を省略という



**議員**

三重県ごみ固形燃料、RDF発電事業について、現在、県とRDF事業を行っている構成市町との間で、様々な項目において、協議が難航しているところですが、私は一連の県の対応に、大変疑問をもっておる一人でございます。当初、この事業は、県主導で推進され、参加市町村からは料金を取らないということ、始まったと認識しております。その点について、町としてどのような認識をしておられますか。

**町長**

か、やらなくても改築か補強か。どちらかの選択を進めるような形の行政努力も必要じゃないか。経費節減にもなるのではないか。

**教育長**

成川小学校の校舎補強及び改築等がありますが、耐震診断と耐力度調査がありまして、今回は耐力度調査を受けた方が、今後何かと優位と考えられるので、ご理解お願いいたします。

**議員**

おいて検討がなされ、県が推進しておりました、RDF化施設に決定がされたものであると思います。

当初は、無料で引き取っていただけるという県の話が、現在、新聞報道などによりまして、1トン当たり9420円という高額な引き取り料が提示されて、その調整が難航しておるとも聞いております。今後の見通しとして、構成市町が交渉に努力されているのは理解できます。しかしながら、一連の県の対応には大いに疑問を持つ一人です。29年から民間委託して中止をするかもしれないというようなことも囁かれています。今回のこの件に、今後の見通しについて町長の見解をお聞かせ願います。

**町長**

ご指摘のように、今回、平成20年度以降の処理料金の提案に合わせまして、県が平成29年度以降撤退、民間譲渡を一方的に表明したことにつきまして、3月に開催されたRDF運営協議会でも白紙撤回を強く求めたところです。構成市町及び構成市町議会から

も県に対し、同様の趣旨の意見書をご提出いただいたところでありますが、現時点で、協議は依然平行線のままであり、これから構成市町がより連携を密にして、協議に臨んでまいる必要があると考えております。今後も議会の皆様と十分ご相談させていただきながら、協議を継続してまいります。

**町長**

長のを考えを。住民説明会等は、住民の皆様の意見を拝聴したい意味でさせていただいており、議員の皆様方には議会等の場をお願いし、決まったことをしっかりと住民の皆様方に伝えていきたいという趣旨で進めさせていただきます。

**議員**

議員の質問は受けない方針ですか。

**町長**

今後ともそういうかたちでご理解いただければありがたい。

**議員**

住民はどんなかたちにしても情報を知る権利があると思う。議員の発言をやめさせるのは、民主的ではないと思う。

**町長**

民主的云々と言いますよ、住民の皆様方に決まったこと、これからのこと、町として説明する機会、場所と考えていきたい。



**平野 美津子 議員**  
 ・水環境をよくする事業について  
 ・誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりと箱物建設について

**水環境をよくする事業**

**議員**

住民説明会等で議員の質問を排除することについての町

**安心して暮らせる地域づくり**

**地域づくり**

### 議員

障がい者が自立して暮らせる地域づくりは、どのようになっていますか。

### 担当課長

平成18年4月に障害者自立支援法が制定され、同年10月に施行されました。障がい者が健常者と同じように暮らせる社会を目指しています。究極の目的は「障がい者の自立」にあるのは間違いありません。障害者自立支援法の柱は①支払える能力に応じた負担から、受けたサービスに応じた負担②あらゆる障がいについて、この法律で対応する③市区町村を事業の母体とする④障がい者も自立できる社会を目指す、の4つになっております。当町の第一次紀宝町総合計画にも「障がいのある方の自立支援」についての施策として「雇用及び就業対策の推進」と「社会参加・交流の場の充実」が明記されております。

### 議員

障害者自立支援法ができてから、大変になった障がい者の方がたくさんおられます。事業所も困っている中で、個別的に紀宝町に心じた施策を

していただきたいと思えます。紀宝町の正職員で障がい者は何人働いていますか。臨時の方はどうですか。

### 担当課長

職員140名中2名です。

### 担当理事

臨時への障がい者の方の登録というのは聞いておりません。

### 議員

役場の採用時点で働きたいという希望があれば採用するのか。臨時で登録者がおれば能力に応じて仕事をもらう方向付けがされていますか。

### 担当理事

適した職種があれば、そのような方向で進めていきます。

### 議員

男女共同参画基本条例作成進捗状況は。

### 担当課長

21年度中の策定を目的に準備を進めてまいりたいと思っております。

### 議員

高齢者の尊厳を踏みにじり、医療差別と耐えがたい負担を押し付ける後期高齢者医療制度に対し、中止・廃止を求める国民の世論が沸騰し、

国政でも地方政治でも最大の焦点となっております。廃止・見直しなどの決議を上げた地方自治体は581で、全自治体の3分の1です。6月議会の中でもさらに広がりを見せています。4月の制度実施を経て、今まで扶養家族として保険料を納めていなかった人、収入0を含めて、すべてのお年寄りから保険料を取り立てることが生存権を脅かすものと大問題になっております。このような高齢者医療制度に、町長、廃止の声を上げる気持ちはございませんか。

### 町長

後期高齢者医療制度が始まったということですので、制度の根幹はしっかり守って、町民の皆様の医療を守っていくことが大事だろうと思っております。

### 議員

75歳以上を枠を作って別の制度にすることは、人権問題だというふうに考えますが、その点はいかがですか。

### 町長

人権問題のところかどうかという判断をするかは、避けさせていたただきたいと思えます。それぞれの年代に合った人た

ちの医療をしっかりと守っていく制度が必要であると思っております。

### 議員

町長のお話では、国が決めた枠組みについては守りながら、中身を考えていかないといけないということだと思っておりますが、社会保障という命の重みは、年齢に関係ないんですから、やはり一つの制度として、これを維持すべきだと思います。

### 町長

誤解があったら困りますので、私も基本的には、国が決まってきた法律の部分については、従わなければいけないという思いは持っていますけれども、制度すべてが正しいかというそれに対する疑問は持っています。それに代わる良い制度があれば、当然代わってしかるべきだと思います。

### 議員

なぜ学校給食に無洗米を使っているのですか。

### 担当課長

旧紀宝町るときから、環境や水の関係等で無洗米を取り入れたと聞いております。今後は給食センター運営委員会

### 議員

で検討させていただきたいと思えます。  
※この他に、6月4～5日、町長外数名が東京に行った目的の件ついて質問がありました。



登立元吉議員

- ・保健衛生について
- ・農業機械導入について

## 保健衛生

### 議員

4月のレントゲン検診で、本年は健康診査がありませんでした。そんな中で声です。「常に医者にかかっていない人は、わざわざ健康診断を受けに行かなあかんのか。春から専属の医者が来て、二村先生も特別参加になられた



第2回定例会

のにできないのか」と。諸報告でもされていましたが、従来並みの健康診査がされると理解してよろしいですか。

**特別参与**

従来並みの健康診査をさせていただきます。ちよつと違うのは、個々の医療機関で受診していただくことも可能になるといふことです。

— **農業機械導入**

**議員**

農業機械導入というところでお訊ねします。国の制度に近代化資金というものがございませう。これに関連して、県が「特定高性能農業機械の導入に関する計画」というものを出しています。これは本町のようなところでは使いにくい制度です。国は競争力をつけるため、またコスト削減といったことから大型化を進めています。その一方で耕作放棄地が出ないようにといいまします。耕作放棄地は大型化している平野部ではそうそう出ません。むしろ狭隘な農地を抱えている山間地から広がっていきます。農業経営の成り立ちにくいところへ行政の手は

差し伸べるべきです。ところが制度を利用しようとするば、面積要件とか、金額とかが絡んできます。県ではトラクターだったら8鈔とか7鈔以上、コンバインだったら7鈔とか6鈔以上と。本町で該当するのは1人か2人です。狭隘なところとか有機農法では、面積的なことで論ずるのはいかがなものでしょう。県内には本町と同じようなところがあると思いますが、町村会で問題にしたことはありませんか。

**町長**

農業振興ということでの要望はしていると思いますが、議員ご指摘のような具体的なかたちでの要望はしていません。

**議員**

これは現場を知っている町村長が少ないということだと思えます。実際に使えないような制度はあつても意味がありません。認定農業者という制度があります。北海道を除いて4鈔、これも大雑把なものです。それぞれの地域に合ったものであるべきだと思えます。それはそれとして我々のところで使い勝手の良いもの

のにしなければと考えます。町長は県とも話してくださると思えますが、これとて直ぐにはならないでしょう。そこで違った角度から伺います。近代化資金を使えば町も利子補填をします。従つて、紀宝町の実態に合ったハードルを下げた支援の仕方を考えられないか。

**町長**

ご意見を聞いていて、制度が適正化ということには、私も疑問を感じます。ただある程度の線引き等も必要かと思えます。いろんな状況等を調査させていただき、検討する機会を作っていたらいいと思えますし、作っていきいたいと思つていきます。

**議員**

整備田をなんとか守りたいという思いで協議会を立ち上げました。耕作放棄地を皆でなんとかしたいと。でもいかんともしがたいこともありまします。不在地主の中には、「ほつといてくれ」と言われる方もございます。農業従事者の高齢化の中で、意欲のある農家の応援歌になるようなものを考えていかなければならないと思えます。

※この他に、熊野尾鷲道路の  
通行止め(6月5日)の件  
ついて質問がありました。



矢熊 達雄 議員  
・農業施策について

## 農業施策

議員

鳥獣による水稻被害の現況  
はどうか。

担当課長

イノシシ・ニホンジカ・ニ  
ホンザルなどによる被害は、  
町内全域で発生しており、  
年々増加の傾向にあり、有効  
な対応が求められています。  
平成19年度鳥獣害対策事業に  
おいて24・6鈔の侵入防止用  
電気柵の設置を行い、被害防

止に取り組んでいます。

議員

18年度において鳥の檻を設  
置したが効果は。

担当課長

家庭菜園などの農作物に被  
害が発生しており、檻の設置  
をしましたが、あまり成果が  
見られないため、今後、研究  
などを行い、対策に取り組ん  
でまいりたい。

議員

認識不足ではないか、思い  
切った対策をするべきではな  
いか。鳥獣被害については、  
基本的には耕作者が対処する  
ものだと思うが、生産意欲の  
低下が心配される。関係団体  
との連携は。

担当課長

獣害対策については地域の  
住民の方と、役場、猟友会、  
農業委員会、JAなどと対策  
を考えていきたい。

議員

有害鳥獣の駆除については  
柔軟な対応を。

担当課長

鳥獣害防止総合対策協議会  
を設立しましたので、猟友会  
とも対策に取り組んでまいり  
たい。

議員

カモ被害については。

担当課長

協議会で対策を講じてまい  
りたい。銃猟禁止区域におい  
ても駆除をしていかなければ  
と思っっています。

議員

外来種についての現況は。

担当課長

ジャンボタニシ等による被  
害の報告は受けています。駆  
除については農業者自らが除  
去を行っているのが現状で  
す。町の対応としては、JA・  
普及センターなどの協力のも  
と、有効な防除対策の情報を  
提供していきたい。

議員

耕作者の高齢化や、鳥獣被  
害の拡大により不耕作地が増  
え鳥獣が里山に來る、悪循環  
になっているのではないかと  
行政の取り組みはここにある  
と思うが。

町長

鳥獣害については大変頭を  
悩ましているのが現実です。  
耕作者の方にとっては苦勞が  
報われない、また残念な結果  
になり、耕作意欲の減少につ  
ながるのではと思っっていま  
す。それを打破できるような  
対策を本町の鳥獣害防止総合

対策事業で進めてまいりた  
い。

議員

不耕作地を復元できるよう  
な手立てが大事ではないか。

町長

農地法上のことも踏まえ考  
えてまいりたい。

議員

農地法とかいろいろな制約  
があると思うが、そこを考  
えていくのが行政の役割では  
ないか。町民に情報を提供  
し、地域の活性化にもつなげ  
ていただきたい。



榎本 健治 議員  
・河口大橋について  
・行財政改革について  
・地域交流センターにつ  
いて

## 河口大橋

議員  
現在の道路特定財源の問題  
等々をはじめ、河口大橋は本  
当に実現できるのか。

町長

平成19年度から、国土交通  
省が調査主体となって、紀宝  
地区の環境調査が行われて  
おります。本年度も引き続き  
5月に発注をされ、約1億円  
の事業費で環境調査がされ  
るとお聞きしています。そう  
いった意味で、架橋に向けて  
の事前調査が始まったとい  
うことで期待をいたしてい  
ます。しかし、道路特定財源  
の一般財源化を21年度に実  
施をする方針の閣議決定を  
され、中期計画の見直しが行  
われるともお聞きをしてい  
ます。私たちの紀宝町が求め  
ております地域間格差への  
対応とか、生活者重視の視点  
を踏まえて、地方の活性化と  
自立に必要な地域の幹線道  
路として、また、高速道路や  
広域医療施設へのアクセス  
の強化など、地域の自主性に  
配慮した整備をしていただ  
けるよう積極的な要望活動  
を行ってまいりたいと思っ  
ておりますし、必ず河口大橋  
の実現をさせるのだという

きるようお願いします。

## ― 行財政改革

**議員**

今、町長より「実現させるのだ」という言葉を使っていたのですが、これが早く「実現できます」と言い切れるようお願いします。一般道の河口大橋という目的を達成するために、高速道路という手段を使う方法もあります。

**町長**

今、手法等についてお話をされましたけれども、やはり、この河口に架けて高規格道路に合わせてでも、川に近いうところにインターを造っていただく。また、向こう側にインターを造っていただく。そういう地域を思い願いを皆さんと共にパブリックコメントで意見集約をする形で気運を盛り上げていただければと思っております。

**議員**

高速道路という手段を使って、一般道の河口大橋を付随して架ける等、二階建て構想にする等、方法もあると思いますので、1日も早く実現で

**議員**

行財政改革大綱が制定された後の進捗状況はどのようになっていますか。

**担当理事**

短時間で取り組めるものは、実施計画書に具体的に記載し、時間の必要なものについては、実施時期を記載することとし、実施計画そのものを早く作成していく方向で、ご審議をいただいております。改革に向けた部会につきましては、行政運営部会と財政健全化部会に大きく二つに分けております。

**議員**

改革を実施していく際には、短期・中期・長期、それぞれ期日をしつかりと明記し、いつまでに改革を実施するのか、それと合わせて、実施後の評価というのにも必要ではないか。

**担当理事**

推進委員会でもご審議をいただきましたが、短期的・中期的・長期的なものに分けて、実施計画に記載する方針

となり、改革の評価の方法としては、部会で項目ごとに評価を行い、行政事務改善委員会へ報告し、推進委員会でご審議をいただくことにはどうでしょうかと考えております。

**議員**

次に職員研修について、以前から様々な議論がされておりますが、講師を呼んでお話を聞いて、接客に対してのマナーとか挨拶につなげてくのだという方法より、ホテル、または企業等への体験型の研修を実施していくべきではないか。

**担当理事**

今年度の研修の計画ですが、予算上は外部委託方式、嘱託職員を含め、157名を5回に分けて行う予定にしております。

**議員**

次に内部改革ということ、行政はサービス業に位置し、企業感覚の経営が求められます。そこでサービスを商品だと考えて、職員自らが商品を生み出す方法に変えていかなければいけません。住民とかかわりが多い職員だからこそ考えて、そして創造することができないのではない

か。職員の改善提案制度の新設はできないのか。

**担当理事**

実施計画の中で項目の一つとなっております。いわゆる企画提案型事務事業の創設として、各課単位で事務事業の検討など、課内での会議を重ねることにより、自由に発言できる場づくりができてくるのではないかと思っております。是非とも、このような体制を整備していかねばならないと感じております。

**議員**

次に財政改革ということ、一般企業の削減については、削減で、いろいろ試行を凝らして行っております。直近の残業代どれだけかかっていますか。

**担当理事**

平成18年度の決算で時間外勤務手当は3627万4千円となっております。

**議員**

今後、時間外勤務が多い場合は代休を取得する方法とか、時差出勤、課を越えた応援体制等を検討して、逼迫した財政の中で、歳出削減していくべきではないか。

**町長**

時間外の問題ですけれども、職員が職務の執行のために、そのときの状況に応じて随時、努力をしていただくと、これについては感謝を申し上げます。議員ご指摘のように、課内の中で助け合う体制をまず作りなさいということですが、現実的にはやはりどうしてもその一人の方に偏っていくという傾向が、まだまだ見受けられるということだと思います。各課の中で連携を取りながら、基本的には議員もおっしゃっていただきましたように、健康管理も含めてやはり30時間を一つの区切りにして越えた場合は、休暇を取って体を休めていただく、そのような職場づくりが大事と考えます。

**議員**

庁舎の増築が完了し本庁舎に統合する際には、適正な人員配置等も含めて、残業代の抑制に努めていただきたいと思います。

## ― 地域交流センター



第2回定例会

**議員**

鶴殿地区で庁舎の隣に公民館というのがございました。撤去されてから地域の方々や活動拠点として使われていた諸団体が不便に思っていました。この地区に集会施設ができるということで、本当に喜びの声を聞いております。今回の交付金事業で残った補助金はいくらになるのか。今後残りの補助金をどのように使っていくのか。

**担当課長**

現在、設計管理委託業務の入札準備を進め、7月初旬までには設計管理委託業務の発注を行っていききたいと思っております。8月に建設工事に着工し、今年度中の完成を考えております。事業費等の残りは、当初計画と比べまして、4145万5千円の事業の変更や追加を検討していきたいと考えております。活用方法は、国・県との調整において事業を計画していききたいと考えております。本年10月頃に、事業計画の変更申請を行う予定とし、国の承認を受けてから事業着手となりますので、11月中下旬からの事業実施にしようかと思っております。

ます。9月議会において、事業費の組み替えをお願いしたいと思っております。

**議員**

今後、4145万5千円の残った補助金については、次世代のための事業に使って

ただきたいと思っております。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enonokkenji.com/ipan.htm>)

**議会だより**

**表紙の写真を**

**募集します。**

例えば、町内の名所旧跡や紹介したいきれいなところ等を、写真におさめて、議会事務局までご持参願います。



## 議会出席管理職名簿

・総務担当理事兼総務課長	上平善一
・防災・政策担当理事兼水道課長	垣内利夫
・住民サービス担当理事 兼税務住民課住民サービス室長	小倉格一
・産業基盤整備担当理事	大前森重
・企画調整課長	前地敏久
・税務住民課長	新元明生
・環境衛生課長	萬浪紳語
・福祉課長	佐藤州弘
・健康づくり推進課長	石本能啓
・産業建設課長	成地正義
・出納室長	正寄伸五
・教育課長兼給食センター所長	保田啓一
・水道課参事	尾崎欽也
・議会事務局長	谷秀之

## 可決された議案

- 専決処分の承認
  - ・紀宝町税条例の一部改正
  - ・紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 紀宝町保育所条例の一部改正
  - ・休止していた鮎田保育所を廃止とするものです。
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
  - ・三重県の福祉医療費制度の見直しに伴い、「心身障害者」の標記を「障がい者」に改め、精神障害者保健福祉手帳1級所持者の通院分医療費を、新たに助成対象に加えるものです。
- 紀宝町監査委員条例の一部改正
- 紀宝町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
  - ・「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令」が施行されたことに伴い、条例の整備を行うものです。
- 紀宝町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
- 紀宝町消防団条例の一部改正
- 東紀州農業共済事務組合の規約の変更に関する協議
- 平成20年度一般会計補正予算
- 平成20年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成20年度水道事業特別会計補正予算
- 工事請負契約の締結（地震補強事業 矢淵中学校耐震補強工事）
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
  - ・人権擁護委員に奥地義郎さん（成川）を推薦することに同意しました。

## 編集後記

毎日暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏は、猛暑もさることながら、死者を出すような局所的な大雨に度々見舞われるなど、異常気象が相次いでおります。これらも我々人間が無関心の内に引き起こした地球温暖化の影響でしょうか。嘆いてばかりいても仕方ありません。少しでも温暖化防止につながるよう、私たちにできること、例えば、同じ場所に行くときは相乗りで、無駄なアイドリングはしない、電気、水道はこまめに消す、食べ切れないほど購入しないなど、各自で考え、できることからやりたいし、やっていただきたいと思えます。

もうすぐ9月定例議会が始まります。町政に無関心ではなく、各自でできること、例えば、議会傍聴にお越しいただく等始めてみてはいかがでしょうか。

（文責 北山）  
「議会だより」（第9号）

編集委員

榎本 健治 北山 千恵  
尾畑 啓嗣